

栃木県 鹿沼市の木材産業

第4班

北海林産株式会社

代表取締役 清水啓雄

弊社は令和元年に木材営業所を新木場より栃木県 鹿沼市に移転致しました。移転後 6年目になり、鹿沼市の木材、木工産業についても幾らか繋がりができ、新木場とは違った関連産業の様子が見えて参りました。

都内と新木場の組合員の皆様にご参考になればと思い、寄稿させていただきます。

栃木県で産出される原木は圧倒的に杉と桧で



す。中でも杉については北関東でも良質な材が出ています。日光、鹿沼、八溝地区は山間部が岩盤の為か、原木の目詰まりが細かく、木味の良い製品が取れます。赤身の色が綺麗な材がかなりの割合で見受けられ、もちろん黒縞の材も多いのですが、全体で見ると鹿沼、日光の栃木県森連の共販所では良材の手当が可能です。他にも鹿沼市森林組合の販売所、民間の市場もあり、活況を呈しています。鹿沼市内の木材業者は桁目平割を径級40cm台の丸太で挽立して地元の建具業者に販売しています。弊社は広葉樹製材の間屋ですが、鹿沼の杉桁平はなかなかの製品と思います。また、この地区の桧も赤身材の色が白く、目通りも良く、驚きました。広葉樹では、県森連鹿沼共販所の記念市に色の良い径級60～80cm台の檜が出品されます。檜はかなりの価格の札が県外業者からも入っています。他にも、檜、山桜、朴などが並んでいます。

鹿沼市は歴史的に日光東照宮設営の職人集団の町として栄えていた為、現在でも建具業者、組子製作業者が多く、関東地方でも木工産業が盛んな地区です。それに伴い、製材工場も残っており、人工乾燥工場、目立工場も市内にあります。以下に「鹿沼市木材乾燥協同組合」をご紹介します。

工場は東北自動車道鹿沼インターチェンジより20分の鹿沼市玉田町にあり、製材部門、乾燥部門があり、特筆すべきは、60インチの大きい製材機械が動いていることです。（以前、飯高木材工業さんにあったサイズです。）

人工乾燥設備も充実しており、土場も2800坪と広大です。

建具工場も市内に多くあり、特注建具、部材加工も地場の木材業者に取次いでもらえます。針葉樹、広葉樹、無垢建具の他、フラッシュ建具の専門工場等、各社得意分野が分かれて稼働しています。近隣に塗装工場も専門工場があり、木取から完成品までが、この地区で完了することができます。

また、スライサー設備を持った工場もあり、弊社も単板の生産も請け負える様になりました。

現状、我々木材販売業者も、輸入材の調達困難化、価格の高騰といった環境の中で、事業の継続を





考えますと加工請け負いも事業の一環と考えなければならないかもしれません。地方の人口減少の中で、今では在庫の保管先を鹿沼に移転して正解だったと感じております。

交通の便でも10年前とはかなり変わりました。東北自動車道で東京から概ね2時間位。北関東自動車道、外郭環状道の延伸で東京、埼玉のみならず、茨城、群馬、長野、神奈川も配送範囲になり、移転当時より便利になりました。

末尾に弊社の取り扱い材を載せさせていただきます。倉庫は鹿沼市東町(あずまちょう)2丁目1-31にあります。

在庫は国産広葉樹では ナラ、タモ、マカバ、ダケカンバ、セン、カツラ、ホホ、シナ、シュリザクラ、ブナ、クリ等

輸入材ではチーク、ニヤトー、ローズウッド、タモ、モアビ、マホガニー、サペリ、ブビンガ、アサメラ、ウエンジ、レッドオーク、ホワイトアッシュ、ハードメープル、ウォルナット、ビーチ等を在庫しております。